

<事業報告>

詳細は14年度活動報告書参照。

1. 会議体関係

- ・理事会、総会、対外加盟団体の県レク理事会・評議員会等計画通り対応した。

2. 主催・主管イベント

(1) オリエンテーリング大会の開催

- ・昨年同様6大会開催した。ただし、昨年まで実施のトレイル&パークOは、トレイルOを取り止めパークOのみにした。このため福田公園のパークOを含め呼称変更し県民パークO大会とした。参加者総数は約415名で総計80名の減となり、12年度と同レベルであった。イベントごとの参加者は増減しているが、減の主たる内容は関西方面の学生の参加有無であり、開催日程の要因とともに、新規トレインか否かが考えられる。

(2).その他イベントの開催

- ・基本技術教室3回(33名参加)、大会運営研修会2回+地図調査3回(17+8名参加)を開催した。また、大会開催前日に試走を兼ねた練習会も開催(34名参加)。

3. 協力イベント

- ・医療法人きのかグループ新入職員研修オリエンテーリングの運営(白石島、15名参加)
- ・たくましい笠岡っ子オリエンテーリング開催(白石島、25名参加)

4. その他の取り組み

- ・大会開催に合わせてのOmap作成整備(マーキング含め延べ36日)、他定例業務は例年通り実施。なお、全日本リレーへの選手派遣、パーマメントコースの再整備関係結論だしはできなかった。
- ・新規作成資料「Trimble GPS PathFINDER JUNO 3B取り扱い要領」
航空レーザ測量データ利用見直しに伴う一部見直し「地図調査要領」。

<会計報告>

詳細は14年度収支決算報告書参照。

・収入

期首計画に対し約1.5万円減。増はE-Cardレンタル料3.5万円、減は大会参加費4.5万円、JOAからの組織育成料約3万円未払いが主要因。

・支出

期首計画に対し約2万円の増。増はE-Card補修費4.5万円が主要因。ただこれはほぼ止まった。このため、繰越金は約7,000円にとどまった。

<総括>

- ・6大会開催したが、昨年までエリア拡大しながら地図調査してきた県健康の森、吉備高原鳴滝湖が合わせて7日(含むコースマーキング)に収まり、共通経費を除けば由加山以外はほぼ黒字になった。反面、各大会で増減はあるものの総参加者は、約80名の減となり、いろいろな要因があると思われるが、積極的な広報などによる参加者増への取り組みが必要と考える。さらに、大会の在り方、日程等についての検討も必要かもしれない。
- ・収支面では、来年度県レク助成金2万円減、謝金3万円減、メール便廃止など厳しい状況になる。一層の経費節減の工夫を図るのはもとより、原資の重点施策への効果的な投資とともに、活性化のためにも参加者増を図り、参加費を増や取り組みも重要である。
- ・スムーズな世代交代を促進する取り組みは、その成果を含めて十分ではなく、組織体制の在り方、イベントの取り組み方、研修会のより効果的な進め方等を見直し取り組むべき待ったなしの最優先事項と考える。

以上